

事務連絡
平成22年12月10日

認定中活計画 自治体担当 各位

内閣府 地域活性化推進室

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて

平素より中心市街地活性化の推進のため格別の御協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップについては、「中心市街地の活性化を図るための基本的な方針(基本方針)」及び「中心市街地活性化計画認定申請マニュアル(マニュアル)」により、計画期間中に認定中心市街地活性化基本計画(認定基本計画)に掲げた取組の着実な実施を通じて目標が達成できるよう、認定市町村は、認定基本計画において定めた時期に、認定基本計画の進捗状況について、設定した数値目標の確認をも含めたフォローアップを実施し、公表することとなっています。

また、このフォローアップの内容につきましては、基本方針の定めるところにより、認定市町村から当室にご報告をいただき、当室としても公表することとなっています。

このため、各認定市町村におかれては、添付の「フォローアップ報告の記載方法」をご確認いただき、フォローアップの内容を「様式」に基づいて御記入の上、平成23年1月31日(月)までに事前提出、平成23年4月28日(木)までに最終提出を当室までメールにてお願い致します。

なお、本年度のフォローアップの内容につきましては、平成23年5月又は6月頃を目処に、当室として対象とする認定基本計画全体についてとりまとめた概要をホームページにて公表するとともに、認定市町村におかれてもホームページにて公表していただくことを予定しております。

以上、何卒よろしく申し上げます。

<今後のスケジュール>

平成23年1月31日(月)中 市町村から内閣府に報告書案の事前提出
報告書案の内容精査、修正
平成23年4月28日(木)中 市町村から内閣府に報告書の最終提出
5月又は6月頃 市町村及び内閣府からホームページにて公表

<提出先>

担当(別紙参照)

(問い合わせ・連絡先)

内閣府 地域活性化推進室

電話 : 03-5510 - 2336 (長澤)

03-5510 - 2338 (米山)

03-5510 - 2209 (大森)

FAX : 03-3591 - 8801

『記載要領』

記載の基本的考え方

本フォローアップは平成23年3月31日時点でのフォローアップを行うものであり、最終提出は平成23年4月28日とするものの、報告書に反映させるデータは平成23年3月31日時点までのデータに限るものとする。

ただし、平成23年3月31日時点までのデータであって、4月にまとまってくるものについては、報告期限の範囲内であれば反映させることは可能とする。

また、1月末時点でフォローアップ報告書の事前提出を頂くが、事前提出後に内容を当事務局で確認させて頂き、4月末の最終提出まで内容の精査を行う。

記載の注意点

「平成22年度フォローアップ結果のポイント」

「計画期間」

- ・ 認定基本計画の計画期間を記載
記載例；平成19年3月～平成23年3月（5年1月）

「1. 概況」

- ・ 認定基本計画に掲げた取組の進捗状況や中心市街地をめぐる現状・環境の変化（中心市街地内外の商業施設の出店・撤退状況、中心市街地内外のマンション等居住施設の建設状況等）を簡潔に記載

「2. 目標達成の見通し」

- ・ 「目標」、「目標指標」、「基準値」、「目標値」は認定基本計画から転記
- ・ 「基準値」及び「目標値」は年度または年を記載
記載例；平成20年の調査結果が100の場合
100（H20）
- ・ 「最新値」はフォローアップ対象の数値を記載。記載方法は「基準値」及び「目標値」と同様
- ・ 提出時点で「最新値」がまとまっていない場合には、直近の数値を記入すると共に、4月末までに最新値がまとまる場合には「月 旬確定」と時期を併せて記載。
- ・ 4月末までに最新値がまとまらない場合には、直近の最新値を使用すること。この場合には、最新値のまとまる時期の記入の必要はなし。
- ・ 調査時点は、平成23年3月31日までのものに限定する。平成23年4月に調査したデータに関しては今回のフォローアップには使用しない。
- ・ フォローアップ対象以外の指標については「最新値」及び「見通し」の欄を結合し「平成 年度フォローアップ」と記載
- ・ 「前回の見通し」は、直近（H20又はH21）のフォローアップ見通しを記載。前回行っていない場合は「-」を記載。
- ・ 「今回の見通し」は選択肢から選択 （参考）参照

「3. 目標達成見通しの理由」

- ・ 目標指標毎に簡潔に記載
- ・ 「 目標」の「目標達成の見通し及び今後の対策」と整合性を図り、簡潔に記載。

「4. 前回フォローアップ結果と見通しが変わった場合の理由」

- ・ H21 フォローアップと見通しが変わった場合、その原因、理由について簡潔に記載。
- ・ 前回フォローアップを行っていない場合は「前回フォローアップは実施していない。」と記載。

「5. 今後の対策」

- ・ 今後の取組や対策等について簡潔に記載。

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

H23.1.31 現在

平成 23 年 3 月
長野市（長野県）

. ポイント

計画期間；平成 19 年 5 月～平成 24 年 3 月（4 年 11 ヶ月）

1. 概況

基軸事業である「21.中央通り歩行者優先道路化事業」の工事が一部着工されるなど、総事業数 54 事業（内 1 事業は 2 項目）のうち、事業が完了、ソフト事業など 20 事業が実施中、工事等実施中が事業、調査研究等未完了が事業となっている。

「5.長野駅前 A - 3 地区市街地再開発事業」が 8 月に竣工し、新たな駅前の地域発展の核となる複合ビル（愛称：Nacs 末広）がオープンした。また、ペDESTリアンデッキを隣接する長野駅前 A - 2 地区市街地再開発事業で整備された商業ビル（愛称：ウエストプラザ）とつながり、来訪者の回遊性の向上に寄与している。このペDESTリアンデッキは、「18.長野駅善光寺口顔づくり事業」で整備される長野駅前広場ともつながる予定である。

しかし、権利者の理解を得るのに時間を要し事業の進捗が滞っているもの、当初の計画を大幅に見直さなくてはいけなくなった事業もある。特に、「50.新田町地区優良建築物等整備事業」については、資金調達が難航し事業が中止となるなど、居住人口の増加は依然として厳しい状況が続いている。

そんな中、「参加したくなる」の指標であるもんぜんぷら座及び生涯学習センターの利用者数は昨年を大幅に上回り、実施事業の波及効果が徐々に現れてきている。この両施設は、中心市街地のほぼ中央にあるため、中心市街地に人々が訪れていることになる。歩行者通行量調査の数値には直接的に反映していないが、1 年を通し、交流人口が増加していると考えられる。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	見通し
訪れたいまち	善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量	8,552 人 (H18)	10,000 人 (H23)	8,456 人 (H22)	
住みたいまち	中心市街地（36 町丁字）の 居住人口	9,660 人 (H18)	10,900 人 (H23)	9,863 人 (H22)	
歩きたいまち	中心市街地（15 地点）の 歩行者・自転車通行量	263,903 人 (H18)	320,000 人 (H23)	215,657 人 (H22)	
参加したいまち	もんぜんぷら座と生涯学習 センターの年間利用者数	300,726 人 (H18)	368,000 人 (H23)	454,821 人 (H21)	

- 注）：取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
：取組の進捗状況が概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
：取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
：取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
：事業等が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

「善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量」について

- ・ 前年度より約 900 人減少しているが、通行量調査日の午後 6 時前頃から激しい雷雨に見舞われたための特異値と考えられる。補足的に実施している通行量調査では約 9,600 人と前年度を上回っており、ほぼ計画どおり事業が進捗していることから、目標達成は可能と見込まれる。

「中心市街地（36 町丁字）の居住人口」

- ・ 数値は増加しているが、住宅供給を見込んでいた優良建築物等整備事業が中止となり、今後の急速な景気回復も考えにくく、目標達成は困難と見込まれる。

「中心市街地（15 地点）の歩行者・自転車通行量」について

- ・ 数値は、前年度より約 7,800 人減少しているが、通行量調査日の午後 6 時前頃から激しい雷雨に見舞われたための特異値と考えられる。補足的に実施している調査では約 240,000 人を超えており、一概には歩行者通行量が減少したといえない。
- ・ 来街者への利便性向上に資する事業がほぼ予定どおり推進されているが、目標数値まではまだ開きがあり、目標達成には厳しい状況である。

「もんぜんぶら座と生涯学習センターの年間利用者数」について

- ・ ほぼ計画どおり事業が進捗し、その効果が現れてきている。特に「27. トイゴ活用事業」では広場を活用した様々なイベントが開催されたほか、生涯学習センターの自主講座の充実や利便性を向上させたことによる利用者数の大幅な増加が見られ、目標達成は可能と見込まれる。

4. 今後の対策

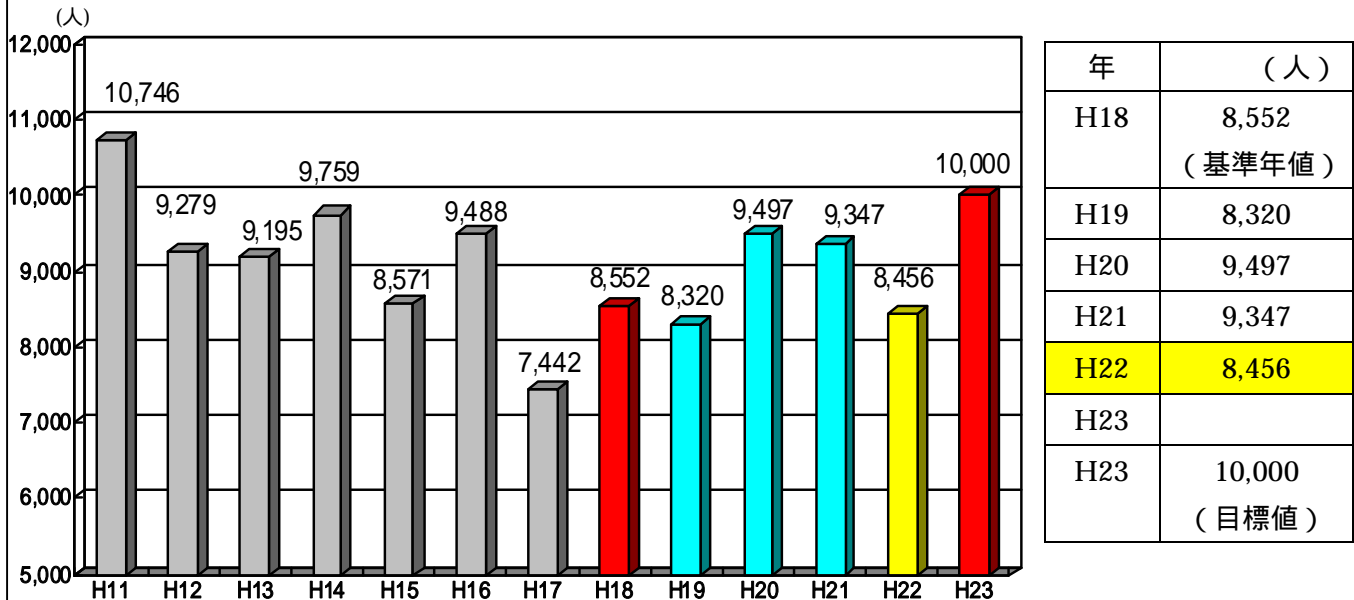
基軸事業である「21. 中央通り歩行者優先道路化事業」を始めとしたハード事業を予定どおり推進するとともに、庁内の総合調整会議幹事会及び中心市街地活性化協議会による事業の検討、協力体制を強化し、基本計画に掲載されている事業を積極的に推進していく。

また、各調査・検討事業を引き続き実施し、中心市街地の魅力向上のための事業の具現化に向けて取り組むほか、必要に応じて基本計画への事業追加、改善を検討していく。

・目標 「訪れたいまち」

「善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量（人）」 * 目標設定の考え方基本計画 P66～P70 参照

1. 調査結果の推移



* 調査月 : 7月

* 調査主体 : 長野市歩行者通行量調査実行委員会

* 調査対象 : 第3金曜日(平日)8時から20時まで 1地点3ポイント 歩行者、自転車、バイク

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・2.善光寺門前駐車場整備事業(長野市)

事業完了時期	【済】H17年度～20年度
事業概要	善光寺門前における駐車場の再整備
事業効果 or 進捗状況	計画：10台分増設 実際：8台分増設 拡張後45台分整備 善光寺門前の観光客や来街者に対する利便性が向上 利用台数 H20年度 34,516台 H21年度 49,444台(善光寺御開帳) H22年度 台

・11.善光寺周辺地区街なみ環境整備事業(長野市)

事業完了時期	【未】H13年度～27年度
事業概要	善光寺周辺地区の道路・小路等の整備及び住宅等の修景助成
事業効果 or 進捗状況	H22年度、釈迦堂通りの電線類地中化及び道路美化の工事着工 修景助成7件を実施 門前町としての雰囲気と賑わいを再生 期間を延長し、電線類地中化事業等を継続して実施する。

・ 15.善光寺門前観光バス駐車場整備計画策定事業（長野市）

事業完了時期	【未】H20 年度～23 年度
事業概要	善光寺門前の観光バス駐車場について調査・検討を行い、総合的な整備計画を策定
事業効果 or 進捗状況	長野市の特定課題として位置づけ、庁内プロジェクトチームで検討中。県、警察等との協議の結果、当初予定していた観光バスの駐停車場の整備が困難となり、新たな候補地についての検討に切り替えたため、事業計画策定に遅れが生じている。

・ 33.観光事業者育成塾事業（ながの観光コンベンションビューロー）

事業完了時期	【実施中】H19 年度～23 年度
事業概要	観光客等の受け入れ体制充実につなげ、再び長野を訪れたいするための仕掛けづくりを学び、観光客に接する店主等の CS 意識の向上を図る目的で事業者向けの講座を開催
事業効果 or 進捗状況	ながの観光コンベンションビューロー開催の賛助会員セミナーの拡充プログラムとして 回セミナーを開催

・ 44.ぱていお大門運営事業（株まちづくり長野）

事業完了時期	【実施中】H17 年度～
事業概要	空き蔵、民家を再生したテナントミックス商業施設である「ぱていお大門」の運営
事業効果 or 進捗状況	善光寺花回廊、御開帳、灯明まつり等に併せたイベントやオープン 5 周年記念等独自のイベントを開催 利用者数 前年度比 % 表参道もんぜん駐車場の利用率 前年度比 %

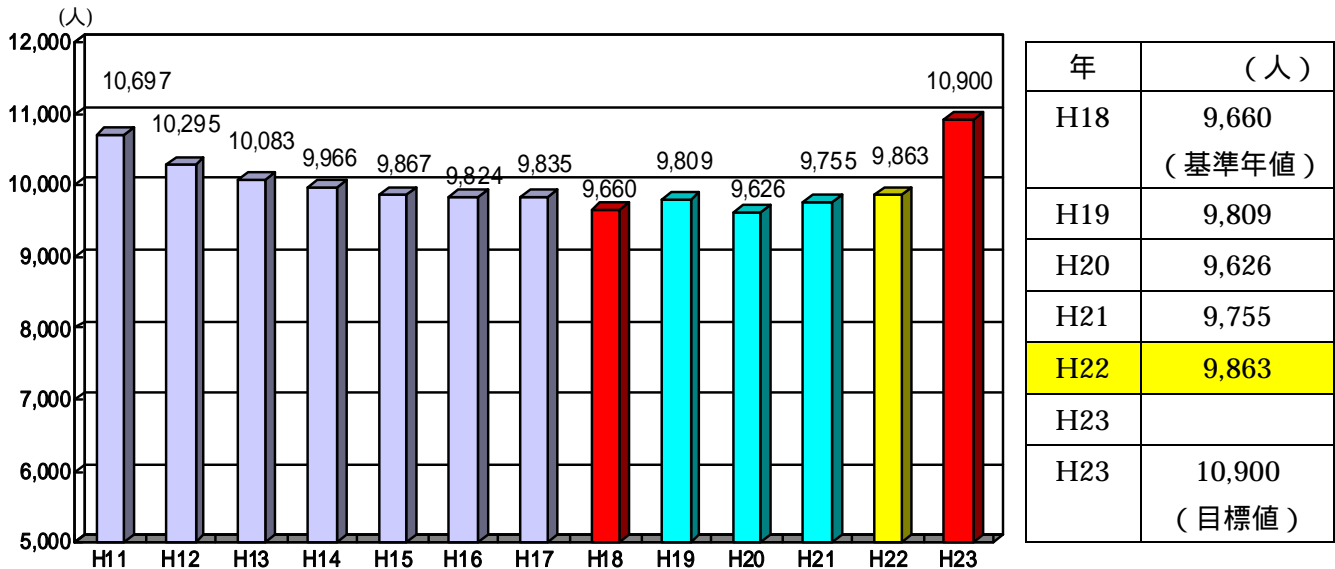
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 基本計画掲載事業は、一部遅れている事業もあるが、ほぼ計画通り実施されている。
- ・ 数値は前年度比 9.5%減少している。しかし、調査日は日中、非常に気温が高かったうえ、夕方 6 時ごろから激しい雷雨(ゲリラ豪雨)となったため、計測は続けたものの特異値として判断する。
- ・ 補足的に行っている 9 月の通行量調査では、9,600 人を上回っており事業効果は現れてきていると推測され、数値目標は達成できるものとする。
- ・ 善光寺周辺地区街なみ環境整備事業が、次期善光寺御開帳が開催される平成 27 年度まで延長し、院坊通りの無電柱化及び石畳を基本とした道路美化を引き続き実施することになった。門前まちらしい風情ある景観を整備することで歩く楽しさを演出し、更なる回遊性の向上を目指す。
- ・ 庁内の事業担当課等で組織する総合調整会議幹事会を始めとし、民間の事業主体や観光事業者、中心市街地活性化協議会との連携を図りながら、円滑な事業推進を目指す。

・目標 「住みたくなるまち」

「中心市街地（36町丁字）の居住人口（人） * 目標設定の考え方基本計画 P71～P73 参照

1. 調査結果の推移



* 調査月 : 4月

* 調査主体 : 長野市

* 調査対象 : 中心市街地区域内及び区域をまたぐ36町丁字別の住民基本台帳人口

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・6. 長野駅周辺第二土地区画整理事業（長野市）

事業完了時期	【未】H5年度～H28年度
事業概要	長野駅東口に近接する当地区に宅地整備と併せ、広域交通の玄関口としての機能向上、基盤整備 都市計画道路、区画道路、歩行者専用道路、公園用地、長野駅東口地下駐車場等の整備
事業効果 or 進捗状況	全体計画の約 %が完了 区画整理エリア内の居住人口が増加 芹田地区 H21年4月 1,534人 H22年4月 1,609人 75人増

・28. まちなか居住支援事業（長野市）

事業完了時期	【未】H20年度～
事業概要	まちなか居住の促進のための施策の構築 H17年度長野市まちなか居住調査専門委員会からの提案の具現化
事業効果 or 進捗状況	民間活動団体と連携した、情報発信のあり方を検討 地域コミュニティ活動の支援

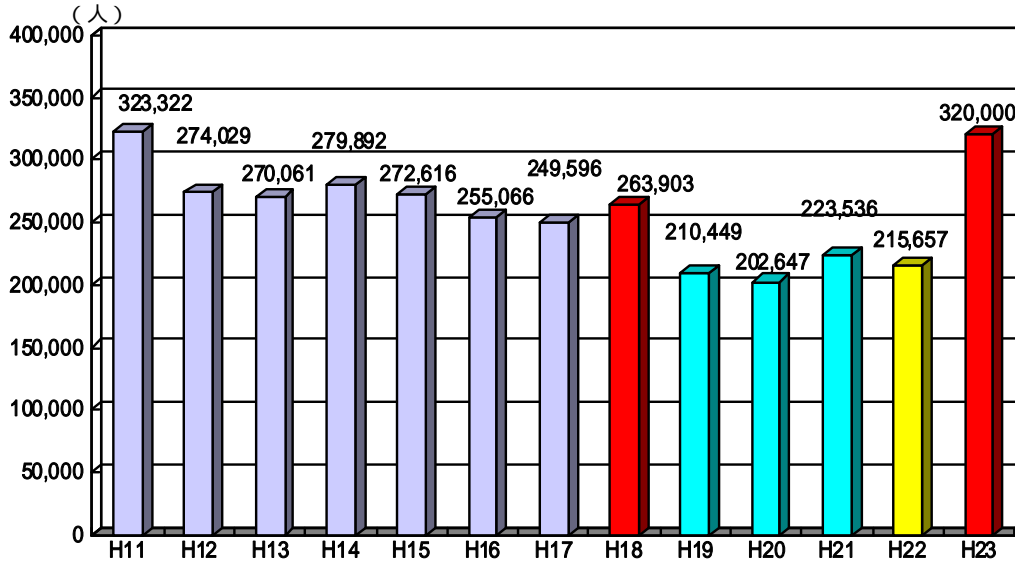
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 居住人口は緩やかではあるが前年度比 + 1.1% 増加し、現状維持の状態が続いている。
- ・ 一時中断していた民間事業者によるマンションの建設工事が再開され、約 1 年遅れで完成することとなった。しかし、優良建築物整備事業が資金調達の見込みが立たず中止されるなど、以前、厳しい経済状況が続いている。
- ・ 今後の民間のマンションの供給も当初計画していたほどは見込めず、目標達成は非常に厳しい状況である。
- ・ マンション建設等の住宅供給のハード事業だけでなく、ソフト事業である「住みたくなる」ための情報提供に重点をおき、現在、善光寺周辺で活動している民間団体と協働しまちなか居住の魅力について情報発信等を検討していきたい。
- ・ 今後、中心市街地へのまちなか居住の動きを確かなものにするため、国の支援策を積極的に活用しながら、住み続けてもらうための環境整備にも着手していきたい。
- ・ また、中心市街地活性化基本計画の終了も見据え、今後のまちなか居住の推進していきたい。

・目標 「歩きたくなるまち」

「中心市街地（15地点）の歩行者・自転車通行量（人）」 * 目標設定の考え方基本計画 P76～P78 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H18	263,903 (基準年値)
H19	210,449
H20	202,647
H21	223,536
H22	215,657
H23	
H23	320,000 (目標値)

* 調査月 : 7月

* 調査主体 : 長野市歩行者通行量調査実行委員会

* 調査対象 : 第3金曜日(平日)8時から20時まで 15地点 68ポイント 歩行者、自転車、バイク

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

1. 中央通り歩行者優先道路化事業(社会実験・整備計画検討及び策定)(長野市)

事業完了時期	【済】H16年度～20年度
事業概要	善光寺表参道の歩行者優先道路化に向けた社会実験、整備計画の検討及び策定
事業効果 or 進捗状況	平成16年度から実施してきた社会実験をH20年度に終了し、整備計画を策定。「21.中央通り歩行者優先道路化事業(道路整備)」に移行。

21. 中央通り歩行者優先道路化事業(道路整備)(長野市)

事業完了時期	【未】H20年度～26年度
事業概要	善光寺表参道の歩行者優先道路化に向けた道路整備
事業効果 or 進捗状況	地元関係者との協議。測量、基本設計を実施。一部工事着手。

4. 市道長野大通り線歩道整備事業(長野市)

事業完了時期	【未】H17年度～26年度
事業概要	長野大通り線の歩道の無散水消雪施設の整備
事業効果 or 進捗状況	歩道舗装工、無散水消雪施設工 L = m、井戸基設置

10. あんしん歩行エリア交通安全対策事業（長野市）

事業完了時期	【済】H10年度～H21年度
事業概要	「あんしん歩行エリア」交通安全対策計画に基づく、あんしん歩行エリアの道路の改良事業
事業効果 or 進捗状況	路肩カラー舗装 L=1,630m（H20年度 740m、H21年度 890m） 注意喚起標識 11箇所設置（H20年度 7箇所、H21年度 4箇所） 工事改良済の道路の歩行者通行量 H20年度比 7.1%増加

13. 北八幡川親水性水路建設事業（長野市）

事業完了時期	【済】H14年度～20年度
事業概要	ホタルが生息する環境を保全しつつ、親水性水路として整備
事業効果 or 進捗状況	現在のホタルが生息している環境を残すため、河川を守っている地元小学校及びホタルを守る会等と協議し、大規模改修は実施せず下水道管の撤去、根継工箇所の改修を行う。 周辺の歩行者通行量 H20年度比 6.5%減少（降雨の影響あり）

14. 善光寺表参道景観づくり推進事業（長野市）

事業完了時期	【未】H20年度～23年度
事業概要	善光寺表参道のストリートファニチャー等のガイドラインの策定
事業効果 or 進捗状況	新田町交差点から大門南交差点の間、基礎調査を実施 地元組織である表参道景観研究会が立ち上がり、「まち並みづくり」についてワークショップを開催

19. 歩行者用公共案内表示板改修事業（長野市）

事業完了時期	【済】H19年度～21年度
事業概要	「長野市歩行者用公共案内標識整備計画」の見直しと案内標識の更新
事業効果 or 進捗状況	国、県、市、警察等関係機関を調整し、善光寺御開帳にあわせ、地図情報掲載の案内標識 15箇所について盤面を更新

20. 野外彫刻ながのミュージアム事業（まちなか編）（長野市）

事業完了時期	【未】H20年度～ 25年度
事業概要	昭和48年から市内全域を美術館になぞらえた「野外彫刻ながのミュージアム構想」を推進している中、全市域に設置している野外彫刻を中心市街地への設置に特化
事業効果 or 進捗状況	長野市内全域 138点 中心市街地エリア内 17点設置済み 市内循環バスを利用した野外彫刻巡りのPR、写真コンテストの実施 エリア内の野外彫刻を専門家の説明を加えながら巡る企画の実施

45. 門前都市回遊性向上創造事業（ふれ愛サポートクラブ）

事業完了時期	【実施中】H19 年度～23 年度
事業概要	歩いて楽しい街を実現するために、車と人のネットワークのあり方などを検証しつつ、中心市街地の回遊性の向上を図る
事業効果 or 進捗状況	「表参道ふれ愛通り推進委員会」と一緒に内容を限定し活動

46. 市街地循環バス運行事業（長野市）

事業完了時期	【実施中】H12 年度～
事業概要	40 人乗り小型バスを用いて市内循環バス「ぐるりん号」を運行
事業効果 or 進捗状況	市域全体の公共交通再編の検討にあわせ、ルート変更、増便等の利便性の向上について検討 前年度比 乗車率 %

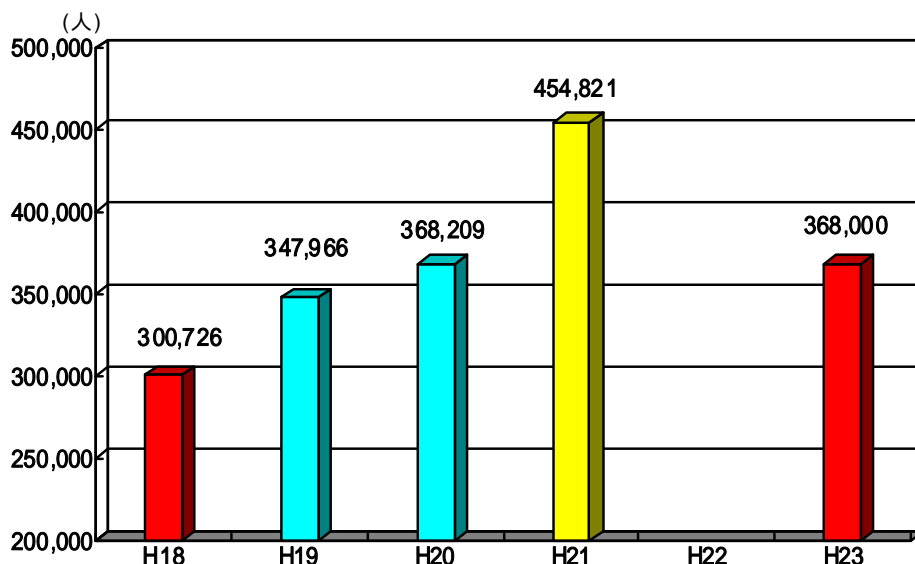
3. 数値目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 基本計画掲載事業は、ほぼ計画通り実施されている。
- ・ 数値は前年度比 3.5%減少している。しかし、調査日は日中、非常に気温が高かった上、夕方 6 時ごろから激しい雷雨(ゲリラ豪雨)となったため、計測は続けたものの特異値として判断する。
- ・ 補足的に行っている 9 月の通行量調査では、24 万人を超えており、昨年度を上回っていることから、歩行者通行量が減少しているとは言えず、徐々に事業の効果が現れ始めていると考える。
- ・ しかしながら、全体の目標数値とはまだ開きがあり、目標達成は厳しい状況である。
- ・ 基軸事業である「21.中央通り歩行者優先道路化事業」の工事が一部着工した。今後、段階的にハード整備が実施され、歩道が拡幅されるほか、周辺の街並みに合わせた石畳舗装となるなど、より歩きやすい環境が整っていく。
- ・ また、「14.善光寺表参道景観づくり推進事業」において、良好な景観をつくるための基準を策定するため基礎調査を行った。今後、地元において発足する予定の景観形成市民団体と連携しながら、景観協定の締結を目指しており、「歩きたくなるまち」の実現に向け更なる効果が期待できる。
- ・ 中心市街地活性化協議会及び庁内総合調整会議、また、行政だけでなく、民間事業者とも連携を取りながら、ハードだけでなく、特にソフト事業に力を入れ、総力戦で目標達成に向け邁進していきたい。

・目標 「参加したくなるまち」

「もんぜんぷら座及び生涯学習センターの年間利用者数（人）」 * 目標設定の考え方基本計画 P79～P83 参照）

1. 調査結果の推移



年	(人)
H18	300,726 (基準年値)
H19	347,966
H20	368,209
H21	454,821
H22	
H23	
H23	368,000 (目標値)

* 調査月 : 翌年度の4月

* 調査主体 : 長野市

* 調査対象 : 両施設の公益施設の年間利用者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

【追加】26.もんぜんぷら座活用事業（未利用階の有効活用に向けた改修工事）（長野市）

事業完了時期	【済】H19年度～H20年度										
事業概要	NTT コールセンターの入居に伴う未利用階（5～8階）の改修工事										
事業効果 or 進捗状況	未利用階であった5階～8階の改修工事が終了し、会議室（3室）、学習コーナー（12席）を増設 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">会議室利用者数</td> <td style="text-align: center;">H19 / H21</td> <td style="text-align: center;">18.3%増加</td> <td style="text-align: center;">H19 / H22</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">学習コーナー利用者数</td> <td style="text-align: center;">H19 / H21</td> <td style="text-align: center;">68.5%増加</td> <td style="text-align: center;">H19 / H22</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> </table>	会議室利用者数	H19 / H21	18.3%増加	H19 / H22	%	学習コーナー利用者数	H19 / H21	68.5%増加	H19 / H22	%
会議室利用者数	H19 / H21	18.3%増加	H19 / H22	%							
学習コーナー利用者数	H19 / H21	68.5%増加	H19 / H22	%							

26.もんぜんぷら座活用事業（長野市 ㈱まちづくり長野）

事業完了時期	【実施中】H15年度～
事業概要	大型空き店舗を市が買い取り改修した、公益施設・商業施設等のテナントミックス施設である「もんぜんぷら座」の管理・運営
事業効果 or 進捗状況	H22年2月、地区住民の活動拠点となる住民自治協議会合同事務所が入居 もんぜんぷら座オープン以来、公益施設利用者数200万人突破 年度利用者数 H21年度 289,283人 H22年度 人

27. トイゴ活用事業（長野市 トイゴ内民間事業者）

事業完了時期	【実施中】H18 年度～
事業概要	市街地再開発事業で建設された「トイゴ」の運営 トイゴ内の生涯学習センターの管理・運営
事業効果 or 進捗状況	生涯学習センターの自主講座の開催、大学と連携した各種学習機会の充実を図り、前年度の倍以上の利用者があった トイゴ商業施設運営委員会を定期的に開催し、イベントとの連携、トイゴ広場の活用等について検討 生涯学習センター利用者数 H21 年度 165,538 人 H22 年度 人

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 基本計画掲載事業は、ほぼ計画通り実施されている。
- ・ もんぜんぶら座の数値は前年度比とほぼ同じである。11 月には公益施設利用者数 200 万人を突破し、生涯学習・市民活動・高齢者交流・地域ぐるみのまちづくり活動の場として定着してきている。
- ・ 生涯学習センターの利用者数が H20 年度と比べの倍以上となり、交流人口の増加に大きく貢献している。また、更なる利便性及び集客力の向上や自主企画事業の内容の充実を図るため検討会議を開催するなど、より使いやすい施設運営に向け努力している。
- ・ 平成 21 年度数値は目標数値を大幅に上回ることができた。今後も引き続き、地域住民や事業者、ボランティア団体、行政など多様な主体がそれぞれの活動をより推進し、地域ぐるみのまちづくり活動の喚起を促し、事業を推進していく。